

都大附高新聞部
東京都目黒区金町5-9-1
電話 荏原(78) 0749
編集者 岩田 末広
責任者

眠れる都立

それでは
とんだじ前かじのう
アイクサナ飯に 時分暮して
とんだが

議決機関へ

それでは
とんだじ前かじのう
アイクサナ飯に 時分暮して
とんだが

一九五七年の展望

三年生は、卒業を控えて去る一月二十七日、合同ホームを開き、記念品、謝恩会の件について、次の様な決定を行った。

記念品は、教育予算の補足という形でなく、真の記念品という形にして、具体的には噴水の修理、藤棚、植木ときまつた。

總額一萬圓余

また二月十四日の自治委員会でも送別会を昨年の規模で行うことに決定している。

瀬戸、四国へ

新三年生の修学旅行は、瀬
西国方面と決った。日程は
二日ばかり二十六日。

●運動記録

大学学生会館

男子部
蹴球部

一月十三日於小山台

成蹊高校 42—38 都立高校

を建設か

都立大学では、学生会館を
とに決った。場所は現バレー
ト付近で、木造二階二百坪

侵略をどうみるか。

この問題について、さ
まり、書けない。しかし、
件の重要性が決して、ハン
の問題のより劣るからでは
ない問題と比較的理解しな

完全に独立しようとする氣持がその問題に困難にしている。

以上の本質的なものには、副次的に
イスラエルのユダヤ人とアラブ諸
国との対立や、英、仏と、アメリ
カとの、口舌並ぶ喧嘩の、も数少
私達は資本主義の社会に生
おり、それと完全に相対し
社会主義の社会に、ハンガ
リヤ事件がおきたからです。

予備校の講義が自宅で聞ける
正 修 の
通 信 添 削

英語科・国語科
解析Ⅰ科・解析Ⅱ科
予備校のテキストとその講義解説誌つきの通信添削会
答案作製だけを重点的に指導する答案作製の特別指導会
申込受付中
紹介はハガキで請求しだい発送。都
報でみたことを付記してください。
京都千代田区
河台2の3
正修通添部 振替
1440

高校コース

趣味と教養と娯楽をかねた
高校一・二年向けの
教育雑誌

〈特集〉
世界成功者物語
☆大学入試の
激進化にそなえて 高校一・
科学特高〉 無限の世界に……

① 英語三者一体 不定詞・分
付 ② 問題中心 ビ・三角比の
③ 図説式 社会科要点の
録 ④ 表解 国文法便覧
⑤ 今月の学習プラン
定価 100円

2月

東京都大田区
南千束町 4 6

学習研

〔特集〕 あすへの希望

戦後いろいろの批判を浴びながら生きてきた高
松生たちは、いまや希望の光をさがしあててたくま
しい歩みを開始した。

〈冬休みに役立つ学習記事〉①冬休みのじょうずな過ごし方
②国・理あなただの基礎学力を判定する

〔科学特集〕 ある科学者の初夢 ー未来の科学物語ー

① 冬休み炉辺日記
② 時制・法・態の研究
③ 冬の室内遊戯宝典
④ 今月の学習プラン

付録

価値 110円

正月特大号発売中

卒業を前にして

勝 三

現在の自分は満足してゐるからである。心をなぐさめてくれた自然の環境そして人間である。

これを書いていると気が落着く心が温る。入学試験を約一ヵ月前にして、不思議な程、心は平靜である。でも一刻一刻はおしい。入試というよりは、卒業という事でおしいのである。僕についていへば、中学二年が人生の二つの山と考へられるのであるが、高校を卒業するにあたって、社会人たる基礎が本校において、養われたと思つてゐる。伝統あるこの都立高校は多くの卒業生を世に送つてゐるが、いずれもこの課程をみてと身につけた人だと思ふし、またこの学園では、誰もが、その性格が一段と磨かれると思ふ。これは学園の使命なのであつたら僕達は僕達でまた生ねばならぬ。お互に頑張らねばならぬと思ふ。

高校の数学について

遠山啓

日本のように原料の少ない国で多くの人口を養って行こうとするのと、質の高い工業を起して、そののち製品を輸出して、その代金で食料その他の原料を輸入して、釣り合を保っていく必要がある。そういう国をつくっていくためには国民の知的水準が高くなる必要がある。特に科学技術の知識と能力が高くなければならない。一部分の人間が優秀であるだけではダメであつて、国民全体のレベルが上昇しなければならぬ。

といつて押しこめることはできない。アメリカもイギリスも連も数学や理科のレベルを上げようとして懸命になっている。日本だけこれに反対しても取り残されるだけであらう。高校から数学Ⅲを追い出せという主張もあるようだが、そういう意見は世界の大勢に言ひは井の中のカワズと云々、ところはない。数学Ⅲは微分積分の初歩であつて、数学を知らない新入生が入ってくるやうになる、と数学教育は根本的に動揺するほかはない。たぶん四年制を五年制にしなないと理工系はやれなくなるだらう。文科でも微分積分は必要であつて、経済学や心理学など年々ともにもその応用範囲は広がつてゐる。文科といつても小説家になる人ばかりではないのである。がらひの数学は順序を立てて系統的に勉強さして行けば一ぱい合

やがて學問である。ただ一々解けないうことがあつて、後はすべて解らなくなるという特徴がある。この点にさえ注意して二歩二歩積み上げてつてアイマイなところを無くしてさへ行けば誰にでもわかるようになってゐる。だから諸君もそういう心構えで勉強したらもらいたいが、数学の嫌いな人々ある人々が、数学をある程度勉強することは、二十世紀の後半に生まれた人間の宿命だとおきかめられて勉強するほかにない。勉強しておいたら将来必ず勉強しておいてよかったと思ひ当ることがある。ちがひない（筆者は東工大教授）

○ ○ ○

一昨年の高校教育課程改革によつて、数学科は従来の解析Ⅰ、解析Ⅱ、幾何、一般数学から、数学Ⅰ、数学Ⅱ（この二つで従来の解析Ⅰ、解析Ⅱの一部、幾何）、数学Ⅲ、

しかしに課大は、数学Ⅲを理科受験者に課すと発表を行った。多くの大学では、発表がなされないが、ほぼ東大に同調するのと考えられる。

この発表は、日本数学会と高学学校長会は、賛成 反対と対立している。

数学会は、一、理科受験者に、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲを含む問を課すべし。二、中学校の算という数学教育に関する意見書を部当局に申し入れた。

高校校長会は、試験地獄を一層め、高校教育を混乱に導く旨を大総長に申し入れた。

この問題について、多くは一面性に学問的にも、一面受験と関係させて考えるだろう。そこで演解

先生に書いて頂きました。(R)

の間に

講演会を開く

ハングリーは、十五世紀末頃から十九世紀末まで異教徒であつたトルコ人に支配され、その後、オーストリアに支配されてゐた。そして、十九世紀になつてから、二月革命の影響を受けて、オーストリアの民族運動がコッユトという人を中心に起り始めた。もちろん、これは他国から援助もあつて鎮圧されてしまひますが、オーストリアも、ハンガリー以外の民族を鎮圧するのによつて、オーストリア、ハンガリー國ができました。これが第二、三、四戰によつて、ドイツと共に、敗るまでつづきます。大戰以後、ガリーは獨立し、一九一九年に反亂が起つて、社会主義政黨が府を作りました。

が全くいなかったとはいへませんが、極少しだったでしょう。この動乱の原因を作くりだしたのがハンガリー政府でしょう。

具体的にどんな誤りをしたのか、まず大きな誤りは、重工業を速く発展させるために、軽工業の発展のための投資をおつため、十二年間もつたにかわらず国民の生活程度は非常に低かったことでしょう。それ多分にソヴェット連邦の政府をおかしているところで、ハンガリーの社会主義化の課いろいろの特殊な条件を考慮に、ソ連の模倣をしすぎた。ソ連をあまり権威化しすぎたのも大きな原因の一つでしょう。その他政府の長年のあやまりに対する不満が、昨年の春、第二十二回大会によって、ソ連去の誤まりが大胆に反省され、に、以前のままで、あらためて、となないハンガリー政府に、て、爆発したのです。だからこ

本並に参加した青年達が、本

せん
ないが「松川事件」がそうい
ない。格に似たものであることは密
ことだ）。

このように、世界が大きく一
れ、対立しあっている時、ハ
リー国内で（そして全社会主
内でも）大きな譲りがなされ、
い社会主義をのぞむ国民の不
非常に大きくなっていった。こ
うことは、資本主義国にとっ
てと有利なことではないであ
ろか。これを資本主義国は容
ないで傍観するだろうか。そ
傍観していたのだろうか。ア
で毎年予算に計上される対
際の一億ドルは、一体何に使
れていて直接にも（間接的
ちろん）資本主義国は大き
を演じた。十月二十三日の
において最初の銃声が聞こえ
後、直ちに多くの人々に兵
られたところである。そして
モは、ブタペストの放送局
めとする主要な地点に向つ
たという。ここには、明ら

う性 まっていることができなかった。それを、他の社会主義國が、そのは歴史の進行には逆行しています。そのような意味の態度は正しかった。この増連が援助しないということと二年間の社会主義の成果をわし（大きな誤りをおかし）いえあらゆる面で特に工業で戦前のように、他國の資本壓させられていたのよりはならぬほど進歩していたのと同じ世界大戦の危機を生み出したを意味しているのです。ることは困難ではあるが、この悲劇は、世界史を造り出すものとの戦いの結末だ。だからといって悲劇的否定することができません。現在帰国しているとははだ國外のこつている自國をはなれた人々の、父母兄弟色テロによって殺されたりして軍によって殺されたたりして悲しみは、否定できません。た、社会主義化の後の諷刺

った。本立
機動する
しては
でソ連
は、十
、参合、ソ
打ちこ
たとは
の方面
に比較
に、新
だ、こ
に、新
比較す
ハンガ
行をそ
果なの
要素を
。どん
は、いま
、国
兄弟を白
、ソ連
に人々の
ん、ま
りを過
い、エジプト人も、本立
よい平和な社会を基として
行動したのでありまして、
そして、彼等の力は、ハン
では、より強固な、社会主
建設をし、エジプトでは
にも独立して、新しい、神
族ではない、アシアフリ
化国家を基きあげるのでも
そして、スエズの時には、
猛烈な非難と、平和を望
論をして、英仏をしりぞ
のです。ハンガリーの時
も、ほとんどは、単に二三
かとらえています、それは
反平和なものに利用され
て利用されている、もの
たが、しかし非常に大き
て本当に平和をのぞむ
て、それはより大きな戦
なかつたのだと思う。
世界はまた激動した。だ
こそは、それを大きな戦
発展させなかつた（多く
をだした）が、
私達はこの文のはじめに

に、二つの。が、今度
争にまで
の犠牲者
をとして
る（そし
てはあつ
く、そし
てによつ
いになら

ガリー
王國の
經濟的
被圧民
リカの文
あるう。
世界の
む声は世
かしたた
ににして
面的にし
明らかに
る（そし
てはあつ
く、そし
てによつ
いになら

り方を真似たため、終戦当時アメリカ式の数学教育をかつぎ回した人々は「義務教育ではむづかしいことをやってもダメだ」という理由でこういう教育を日本に広めたのである。その結果義務教育でない高校にシワよせが来たのである。シワよせとはいつてもヨーロッパなどにくらべて決して過大な負担ではない。一年二年三年がかりに六六六六という時間数であるでも、決して過大とはいえないだろう。現にシワは過六時間の数学をやっているのである。過大であるという感じが持たれるのは終戦後数学の時間がひどく削減されたために比較的何となく過重だと思われるようになったものだし、数学の程度が上っていくのは世界的な傾向であってそれを嫌いだ。

一月二十九日一時から大学講堂で井上正蔵先生の「東西ドイツをめぐって」と題した講演会が行われた。先生は詩人ハイネ死後百年記念祭に東独科学アカデミーの招待で、去年十月四日日本を發つて後、講演や學術研究のために東西ドイツを歴訪された。

——記念祭は十月五日に東独のワイマルで開かれた。

学会が終つてベルリンへ行つたが、東ベルリンは戦後の荒廢から拔け切つていなかった。

西独側の米軍が地下に長いトンネルを掘つて電話の盜聴を企てた様子を聞いたり、東独の警官に紋回島分証明書を求められたり、東西西独のキシリを身に感じた。

また訪独中にスエズ・ハンガリー事件が起り、西ベルリンでは学生らの反ソデモが行われ、西側の新

は東独の学生の間でも同じ意味
デモが行ったと伝えていた。し
し全くそのような事はなかった。
訪問した二つの高校ではいずれ
授業中に生徒と教師の間で激烈
討論が行われていた。ところで
シブルグの高校では社会科で共
党について一言も触れないので
思議に思われた。またハイネ研
制的な教育が疑われた。
ラインはよこれローレライの岸
くには米国風のレストランが盛
込んでいて革命の詩人ハイネは
でも不幸に思えた。――
講演は一時間程で終り、その後
望者二千名余りが校長等と先生
とテールを囲み懇談会を行っ
講演にもあった東独からの亡命
族のこと、ハイネの作品が西独
は抑えられ、ゲーテは人々に愛

のれマンカが尊敬され訪まれて
かることも話題は豊富だった。
西独の徴兵に対して青年達が不
議なく拒否がなかつたという
政治や社会状態などから一般的
昂ると、東独と西独は互いに他
国に対してよりも敵国視し、暗
合つてそこには現代の二大思潮
ソ連、米国の軋轢が伺われた上
だ。左の写真はハレツ近辺のヴ
ルゲローテのお城



ソフィア、ブルガリアの首都。ソフィア政治の後に、ソヴェトに解放されたのです。それ以後、いろいろ曲折しましたが、人民民主主義諸国の一つとして現在にたっているのです。そのハンガリーで昨年の十月末から十一月に大動乱が起つたのです。ハンガリーに起つたので、いろいろな原因は、あるでしょう。それについて様々なことがい

に闘つたところではたしかに勝つたといふことがあつた。だがそのような、単なる国民的満ちみと解するにはあまりに大きな動乱ではないでしようか。単なる国民の不満をあのよう劇的な動乱にまで発展させたハンガリー國內の問題ではないそれは、現代の世界状況が、資本主義諸国と社会主義諸国との対立をさしたのだ。そして先づたハンガリー政府に譲りをおせたのも、もちろん理論的なことといふことも大きく影響しているが、この大きな対立の中で、策の困難さがもたらしたといふであらう。この対立の中で、相互に恐れあつてゐる。恐ねる度合は、資本主義国の方が強いといつても強いであらう。だから、ただ、社会主義国内の矛盾も

放送」などの西欧からの東
のラヂオ放送は、西ドイツの
までもが、ハンガリーの暴
動していると抵触したほと
したこともみのがせない。
またこの事件の本質である
主権制度の否定——多くの
を否定しているように、国民は
を否定してない——を如
らわしている事件がありま
ンゼッティ枢機卿が釈放さ
ジオで社会主義制度の放棄
しているした、戦前のフ
ト、ホルティの専横が国
長官になったこと、そして
かにこれを宣言することは
主義国であることをやめる
しいのに、ワルソー条約破
言したした一方では、ソ
軍が一時撤退した三千日頃

歐向は新聞の新聞、動を屬、活躍、社会、社会、これ、これ、突にあ、す。ミ、ラ、公表、シス、防省の、明ら、社会、のに等、案を宣、ヴェト、には、

これらの点のみを強調するのは、どういふことを意味しようか。そのようにすればハンガリー國民にとっては益にならないのみならず明害になるのです。というのは他ならぬ彼等の社会主義がいけないというところを強ここだからです。そして實のはハンガリー國民のみならず世界の人人、私達にも、というのは、正義の名で、対社会主義國に對する勸の準備がさらに強化されては緊張の一途をたどるものであります。そして現にやっています。

○二つの事件と一九五
以上いろいろ述べてきます。二つの事件そのものは事

それは、あれだけにつきま
あらわれているのは、和平
です。しかし、事件のこ
が、平和を望んで行動し
ら、正しく二つの事件を
ものは、そこから今後の
動きをつかむ。
私達はそれをしっかりと
なりませぬ。
そして、故意にまがごと
して、反平和な動きを示
しているものに対して闘
らなご。
沖縄、砂川の基地拡張、
八島の水爆実験がそれで
これらは、東西両国の暴
ばかりです。
なお、平和はあつがす
しい言葉だ。だがそれを
させないのは私達なのだ

なす。今
和なもの
中の人々
たのなか
評価する
平和への
なす。な
た評価を
めする
わな
クリスマ
ある。
園を生む
ゆるがせ
す。
(W)

いがみ合う両ドイツの間に

井上氏講演会開く

二月二十九日一時から大学講堂で井上正蔵先生の「東西ドイツをめぐって」と題した講演会が行われた。先生は詩人ハイネ死後百年記念祭に東独科学アカデミーの招待で、去年十月四日日本を来つて後、講演や学術研究のために東西ドイツを巡訪した。

イマーレは十月五日に東独のワイマルで開かれた。

学会が終つてベルリンへ行った。た

は東独の学生の間でも同じ意味でモノが行ったと伝えていた。しかし全くそのような事ではなかった。訪問した二つの高校ではいずれ授業中に生徒と教師の間で激烈討論が行われていた。とこまでソングルの高校では社会科で共党について一言も触れなかったので思議に思われた。またハイン研究などは行われず、西独では思想開明的な教育が疑われた。

西独の徴兵に對して青年達が不平を露わにすることがあつたといふ。議會から騒がれてゐたといふ。政治や社会状態などから一般的に考へると、東独と西独は互に他國に對してよりも敵國視し、軋合つてそこには現代の二大思潮、米國の軋轡が伺われた。左の写真はハレツ近辺のヴルゲローテのお城

アシスト政治の後に、ソヴェトに解放されたのです。それ以後、いろいろ曲折しましたが、人民民主主義諸国の一つとして現在に上つてゐるのです。そのハンガリーで昨年の十月末から十一月にて大動乱が起つたのです。なまじりハンガリーに起つたのでしよう。いろいろ原因は、あるでしょう。それについて様々なことがあつ

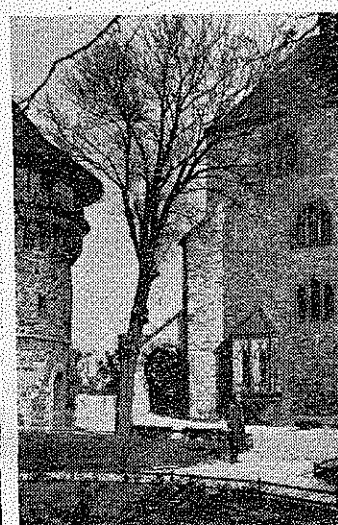
軍に歸つたといふことはたしかだが、そのような、単なる国民のみと解するにはあまりにききな動乱ではないでしようか、単なる国民の不満をあのよう劇的な動乱にまで発展させたハンガリー國內の問題ではないそれは、現代の世界状況が、濠洲諸國と社会主義諸國との対峙をさせたのだ。そして先に

放送」などの西歐からの東漸のラヂオ放送は、西ドイツの暴動にもかかわらず、ハンガリーの暴動しているのを批難したほどに、したこともみのがせない。またこの事件の本質である主權制度の否定——多くののは認めているように、国民はを否定していない——を知らわしている事件がありま

歐向けの新聞動を扇活讓
社会報道がこれ
す。ミ
これら点のみを強調す
は、どういふことを意味す
しょうか。そのようにする
ハンガリー國民にとつては
益にならないのみならず明
害になるのです。というの
れば他ならぬ彼等の社会主
義がいけないといふことを強
ことがたからず。そしてま
のはハンガリー國民のみで
全世界の人民、私達にも

それは、あれだけつきま
あらわれているのは反平和
です。しかし、事件のこと
が、平和を望んで行動し
ら、正しく二つの事件を
ら、正しくそこから今後の
動きをつか
私達はそのをしっかりと
なりません。
そして、故意にまちがっ
て、反平和な動きを示

和なもの
 中の人々
 だのだから
 評価する
 平和への
 必要に
 た評価を
 しよう



ルゲローテのお城